

事業概要

- 所在地：大泉町東小泉
- 路線名：一般県道 綿貫篠塚線
- 事業内容：電線共同溝 延長 900m
- 全体事業費：約5億円
- 事業期間：令和元年度～令和7年度（7年間）
- 現在の交通量（H27）：14,760台/日（自動車）
48人/日（歩行者）
154台/日（自転車）

事業位置



どのような目的を達成するための事業か

・歩行者や自転車の安全な通行を確保するため

電線を地中化して
電柱を撤去します



- ・高崎市と邑楽町を結ぶ幹線道路。災害時も通れるようにしてほしい。（地元住民）
- ・狭い歩道のなかに電柱があるため、歩きづらい。（沿線住民）

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
交通事故件数	4.8件/年(H25～H29平均)	0件
電柱倒壊のおそれ	あり	なし

実施前

- ◆電柱が歩行者の通行を阻害し、歩きにくい状況です。また、災害時に電柱が倒壊し、道路を寸断するおそれがあります。

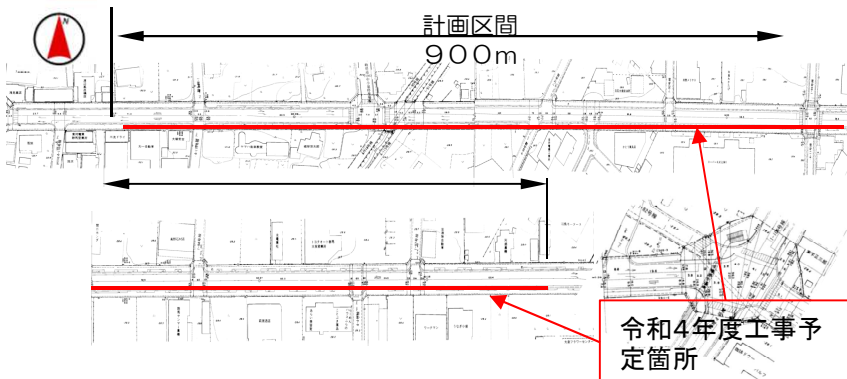


実施後

- ◆道路上の電柱が無くなり、歩行者や自転車の安全な通行空間が確保されるとともに、災害時の安全な通行が確保されます。



事業の進捗状況（R4年3月現在）



今、何をしているか

令和4年度は電線共同溝区間L=900mのうち、南側の工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了